

2020年度 事業報告

丹波篠山市人権・同和教育研究協議会（以後、市同教）は、発足以来、「差別の現実に深く学ぶ」ことを基本理念として、同和問題をはじめ、あらゆる人権課題の解消に向けて取り組んできました。そして、「日本国憲法」や「世界人権宣言」の人権尊重の精神を大切にしたい社会づくりの理念を掲げ、活動を進めてきました。

しかしながら、今年度の市同教活動は、昨年当初からの「新型コロナウイルス感染症」の感染拡大により今まで経験したことのない制約を受けることとなりました。

2020年度活動の基本方針並びに活動方針・事業計画等活動骨子の決定に際し、理事会での提案、その後の総会での決定等々も新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため書面議決による決定となり、変則的な出発となりました。そして、年度当初から新型コロナウイルス感染症に係る「緊急事態宣言」が出されるなど感染が拡大し、秋以降はさらに第3波と呼ばれる感染拡大に至り、年明けには再度「緊急事態宣言」が出されるなど感染の収束には至らない状況が続いています。

この間、「人権の灯は消してはならない」の想いのなか、毎年多数の市民の皆様に参加を得る研究大会の開催を模索しましたが、例年のような形での大会の開催はできず、「第22回丹波篠山市人権・同和教育研究大会特集号」として、研究大会と同じ内容の啓発冊子を全戸配布させていただきました。変則的な形となりましたが、「コロナ禍のなか内容の濃い啓発誌による研修になった」の声をいただき、制約はありましたが啓発研修を進めることができました。また、市同教と市民の皆様とをつなぐ情報誌の「人権・同和教育だより 丹波篠山」はコロナ禍にあり有効な啓発誌と位置付け、内容に工夫し、市同教活動の理解に努めました。

しかし、毎年きめ細かく研修を進めていただいていた九つの専門部会の活動、現地学習のフィールドワーク、そして「みんなの人権を考える映画会」等々、さらに今年度より研修の拡充を目的として開講予定で多数の皆様の参加希望を得ていた「人権・同和教育セミナー」など、市民参加で実施する研修会は感染拡大防止の面から、活動を縮小したり中止したりせざるを得ない状況に至りました。まことに残念な状況でした。

コロナ禍のなか、改めて市同教活動は市民の皆様と相対し、双方向で啓発・研修を進めていくことで内容理解や深化に繋がることを再確認しました。「人権・同和教育実践の灯を燃やし続ける」（2020年兵人教中央大会中止の際示された理念）ために、一時でも早く新型コロナウイルス感染症の終息をめざしましょう。そして、市同教活動をさらに推進していきたく思います。市民の皆様のご協力よろしくお願いいたします。

1 丹波篠山市人権・同和教育研究大会

2020年12月5日(土)に開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、啓発誌による紙上発表としました。

啓発誌はA4版8ページの装丁で18,000部作成し市内に各戸配布すると共に、学校、企業、行政等の関係機関に配布しました。

内容は次の通りです。

特集 コロナ禍と人権「差別をなくしてこそ コロナ禍は克服できる」

春川 政信さん(三木市人権・同和教育協議会 副会長)

特集 部落差別と人権「被差別部落とのいい出会いを」

細田 勉さん(関西学院大学 非常勤講師)

特集 高齢者と人権「高齢者が安心して暮らせる地域づくり」

～みんなで守ろう地域の福祉「幸せの黄色い旗」～

山崎 義博さん(丹波篠山市草山郷づくり協議会)

特集 男女共生の地域づくり「男女共生を越えて多様な人材活用へ」

～不安な時代の地域づくりはみんなの手で～

北村 久美子さん(生涯学習応援隊 so-so-39)

特集 共に生きる社会「人生はスクランブル交差点」

～人との出会いを大切に～

酒井 智彦さん(兵庫県視覚障害者福祉協会丹波篠山支部 副会長)

特集 こどもと人権「『わかる』と『かわる』」

仲島 正教さん(教育サポーター 元西宮市小学校教員)

以上、6つの特集を組んで市内外の講師の先生方に執筆していただきました。

市民の方からは、啓発誌を各戸配布することで広く市民に啓発が行き渡り、効果があったのではないかと評価を得ました。

2 専門部事業

1) 保・幼部会

①日時 2020年10月20日(火) 18:30～20:00

②テーマ 「子どもに寄り添うということ」

講師 春川 政信さん(三木市同教 副会長)

③実施状況

上記を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

2) 学校部会

①日時 2020年11月5日(木) 15:00～17:00

②テーマ 「あーよかったな あなたがいて」

講師 仲島 正教さん(教育サポーター)

③実施状況

上記を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

3) PTA部会

①日 時 2021年1月24日(日) 13:30~15:00

②テーマ 「あーよかったな あなたがいて~コロナ禍での子育て~」

講師 仲島 正教さん(教育サポーター)

③実施状況

上記を予定していましたが、コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

4) 障がい者部会

啓発チラシ配布活動

本年度は啓発チラシの手渡しによる配布はコロナ禍のためにできなかったため、関係機関や協力店にチラシを設置し、来訪者各自で取っていただく方法をとりました。

①日 時 2020年11月下旬~12月上旬

②設置場所 ・丹波篠山市役所・各支所・各公民館・各ふれあい館・県立高校
・中央図書館・市民センター・ハートピアセンタ・JA 丹波ささやま
各金融機関・中兵庫信用金庫各店・社会福祉協議会・障害者福祉協議会「ふれんどりい」各作業所等

③キャッチコピー 「縮めよう ころとこころの ソーシャルディスタンス」

5) 男女共生部会

①日 時 2020年11月16日(月) 13:30~15:00

②テーマ 「男女が尊重し合い、生き生きと暮らすために」

講師 北村 久美子さん(生涯学習応援隊 so-so-39)

③実施状況

上記を予定していましたが、コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

6) 宗教部会

①日 時 2021年2月18日(木) 13:30~15:00

②テーマ 映画「ぼけますから よろしくお願ひします」

③実施状況

上記を予定していましたが、コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

7) 企業部会

①日 時 2021年3月11日(木) 18:30~20:00

②テーマ 「丹波篠山市の古文書に見る人権の歴史」

講師 今井 進さん(丹波篠山市古文書研究会)

③実施状況

上記を予定していましたが、コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

8) 高齢者部会

高齢者の人権学習は、単位老人クラブや自治会との合同で学習会が計画されました。計画では自治会等の合同学習が13クラブ、独自の学習会が6クラブ、コロナ禍で中止が21でした。実施は合同学習が3、独自の学習が4で、全体的には中止するクラブが多く、コロナ禍が大きく支障を来しました。

実施されたクラブのでは、「コロナ禍と風評」「同和問題」「みんなで楽しくいきいきと」等をテーマとする学習内容でした。実施した学習内容と会場は、資料として添付しています。

9) 地域部会

本年度は、コロナウイルス感染拡大防止のため、各地域から推薦された地域部員を招集することができず、地域部会を中止したために地域部会研修会の計画、運営ができませんでした。

3 啓発推進委員会

本年度より、「人権尊重のまち丹波篠山市」をめざして、下記のように「人権・同和教育セミナー」連続講座を計画しました。会報で広く市民に参加者を募りました。また、学校教職員や行政職員の参加も募りましたが、コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

- | | | |
|-------------|---------------------|-----------|
| 第1回（9月26日） | 「差別とは、差別の現状と課題」 | （細田 勉さん） |
| 第2回（10月17日） | 「人権の歴史1 ケガレ意識と差別」 | （上杉 聡さん） |
| 第3回（11月21日） | 「人権の歴史2 解放令と強まった差別」 | （上杉 聡さん） |
| 第4回（1月16日） | 「丹波篠山市の人権の歴史」 | （今井 進さん） |
| 第5回（2月20日） | 「差別のない社会を」 | （春川 政信さん） |

4 「みんなの人権を考える」映画会

2020年8月10日に開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

5 フィールドワーク

- ①日時 2020年8月30日（日） 8:30～15:00
- ②コース 城東公民館発→豊林寺→大芋地区 銚石鉦山跡→村雲地区 鳥山鉦山跡→明治2年世直し一揆衝突の地→曾地刑場→城東公民館着
- ③テーマ 「丹波篠山市人権ゆかりの地を訪ねて」
- 講師 中野 佳代子さん・今井 進さん・井関 裕子さん・河南 崇さん
酒井 雅子さん・松原 薫さん（丹波篠山市同教 啓発推進委員）

④実施状況

上記を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

6 連携推進事業

(1) 兵庫県人権教育研究協議会・丹波地区同教・丹波市同教との連携

丹波地区人権・同和教育研究協議会の研究大会は7月末に、兵庫県人権教育研究大会中央大会は9月末に淡路地区で開催が予定されていましたが、いずれも新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。なお、中央大会については提出されたレポートに基づき、実践報告集が作成され、関係機関に配布されました。

また、来年度は中央大会が丹波地区開催のため、実行委員会の組織化や淡路地区との引継会、役員研修会、啓発冊子編集作業に関わるなど、地域を越えた交流を行い、様々な課題について協議を行いました。丹波市同教とは、交流や情報提供をしながら連携を進めてきました。

(2) 部落解放同盟丹波篠山市支部連絡協議会・部落解放共闘会議との連携

丹波篠山市民集会、各種研修会がコロナ禍のため中止になりましたが、研究大会に代わる啓発誌発行のための効果的な啓発について情報提供をしていただきました。

(3) 人権推進課、教育委員会との連携

毎月1回、三者での打ち合わせ会を継続し、研究大会に代わるの啓発誌の内容や丹波篠山市の人権課題について協議しました。特にコロナ禍での誹謗中傷等の人権課題について各関係機関での課題について情報交換しました。

人権教育の推進や啓発に関わる関係機関として、今後も連携を密にして進めていきたいと考えています。

(4) その他

人権関係団体との連携

7 研究大会・研究集会への参加

(1) 第67回兵庫県人権教育研究大会丹波地区大会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

(2) 第67回兵庫県人権教育研究大会中央大会淡路大会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

但し各地区より実践を持ち寄り実践報告集を発行しました。当協議会からは「高齢者部会」の実践発表として、山崎 義博さん（丹波篠山市草山郷づくり協議会）の「高齢者が安心して暮らせる地域づくり」～みんなで守ろう地域の福祉「幸せの黄色い旗」～を紙上発表しました。

(3) 部落解放研究第53回全国集会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

(4) 部落解放研究第40回兵庫県集会

コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

(5) 第72回全国人権・同和教育研究大会

コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

(6) 第34回人権啓発研究集会

コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

(7) その他

本年度は兵庫県人権教育研究大会中央大会や人権啓発研究集会兵庫県集会是オンラインで放映されたので、役員や啓発委員を中心に紹介し、研修としました。

8 会報の発行・ホームページの運営

会報「人権・同和教育だより丹波篠山」を6月・10月・2月の年間3回発行しました。「人権が尊重されるまちをつくろう」「身近な生活の中から学ぼう」をテーマに、6回の編集会議を開催し協議しました。分かりやすく、読みやすい紙面になるよう、工夫しました。

ホームページのリニューアル

旧来のホームページはデータ容量が小さく十分な情報を届けることができなかつたために、ホームページをリニューアルしました。11月より運用しております。

新ホームページでは、総会資料、会報、専門部会情報、市同教の予定、関係法等を掲載しております。また、今後は緊急の連絡やセミナー等の募集などの情報も提供する予定です。

ホームページアドレス：<http://t-s-doukyou-hr.jp>

9 市民への学習支援

コロナ禍のために機会は少なかったのですが、求めがあれば、個々の学習を支援しました。

10 図書・出版物の紹介

図書・出版物を購入し閲覧しました。

2021 年度会費の特例措置について

2020 年度は新型コロナウイルス感染拡大のために、専門部会や研修活動等の事業が十分できませんでした。そのため、「2020 年度住民会費、企業会費対象決算」の差引残高は約 183 万円となります。この残額を来年度に充当すれば、あと約 240 万円程度の会費による収入が必要です。これは従来の会費収入の約 7 割に当たります。

従って、来年度の会費は本年度の 7 割を徴収すればよいことになります。

会費については本協議会規約で下記のように決まっていますが、来年度の会費は特例措置として規約の額の 7 割を徴収することにします。

丹波篠山市人権・同和教育研究協議会規約（現行）

（会計）

第 16 条 本会の経費は、会費、補助金、その他をもってあてる。会費の額は、次の通りとする。

（1）住民会費は、1 世帯あたり 1 名以上の加入とし、1 名あたり 300 円とする。

（2）個人会費は、300 円を会費として別に加入することができる。

| | | |
|---------|---------------|---------|
| （3）企業会費 | 20 名以内 | 3,000 円 |
| | 21 名以上 50 名まで | 5,000 円 |
| | 51 名以上 | 7,000 円 |



2021 年度会費の特例措置

2021 年度は前年度の残額が多く充当できるので、2021 年度に限り以下のように徴収します。

（1）住民会費は、1 世帯あたり 1 名以上の加入とし、1 名あたり **200 円** とする。

（2）個人会費は、**200 円** を会費として別に加入することができる。

| | | |
|---------|---------------|----------------|
| （3）企業会費 | 20 名以内 | 2,000 円 |
| | 21 名以上 50 名まで | 3,500 円 |
| | 51 名以上 | 5,000 円 |

2021年度 基本方針並びに活動方針・事業計画

基本方針

1. 我が国の社会に今なお存在する部落差別をはじめ、あらゆる人権課題の解消を図り、すべての人の幸せにつながる「人権のまちづくり」を推し進めます。
2. 「障害者差別解消法」「ヘイトスピーチ解消法」「部落差別解消推進法」等人権関係法令の趣旨を踏まえ、人権確立をめざす個人、団体、機関等と広く連帯し、差別のない共に生きる社会をめざします。
3. 市民の人権・同和教育の学習活動の場を充実し、差別を許さない市民意識の醸成、人権意識の高い人づくり・世間づくりに努め、こころ豊かな共に生きる市民社会をめざします。

活動方針

丹波篠山市人権・同和教育研究協議会は、発足以来「差別の現実に深く学ぶ」ことを基本理念として、同和教育をはじめ、あらゆる人権課題の解消に向けて取り組んできました。日本国憲法の基本的な人権尊重の精神や「世界人権宣言」の基本理念が、人権尊重の精神を大切にした社会づくりの理念の浸透に大きな役割を果たしてきました。

しかしながら、私たちの社会は、高度情報化、少子高齢化、産業構造の変化やそれに伴う経済格差の拡大等々多くの問題を生じ、その結果、人間関係の希薄化や地域内での連帯感の欠如を生み、他人の痛みに関心になるなど人権に関わる大きな問題を発生させてきています。また、認知症への無理解や偏見、児童や高齢者への虐待、子どもや若者の貧困、ひきこもりに関わる問題、DV、ストーカー行為、LGBTなど性的マイノリティーへの無理解、インターネットによる差別情報の氾濫や様々なハラスメント、そして、女性蔑視問題等が社会問題となっていることなど、まだまだ人権意識が定着していない現実がみられます。

さらに、昨年からの新型コロナウイルス感染症という新たな世界的な感染症の拡大から生ずる生活や経済的な問題から新たな差別を生むなど人権に関わる問題も見えてきました。

こうした多くの課題解決のために、今まで市民一人ひとりが学習や研修で培ってきた人権意識を呼び起こし、自分の差別性を振り返り、これらの課題を当事者意識を持って対応することが、連帯感を育み、共に生きる社会の意識を強めることにつながります。そしてそのことが「差別を許さない市民意識の醸成」（人権の世間づくり）へと進めることができ、誰もが幸せを実感できる、人権を大切にしたまちづくりの実現につながるのです。

本年度も、これらのことを大切にしながら、コロナ禍ではありますが活動や事業の手法を工夫し、市民の皆様と共に、市民一人ひとりの人権が侵害されることなく、誰もが幸せを実感できる、人権を大切にしたまちづくりを進めます。

最後に、多くの人権課題を前にしている今、そして、新型コロナウイルス感染症に對峙して社会不安の中にいる今こそ、人権を大切にしたまちづくりを訴える丹波篠山市同教の使命は大きくなっています。先人の熱い思いを大切に、互いに学び合い、直面する様々な人権課題の解消に真摯に取り組んでまいります。

全市民参加の教育・研究組織として、コロナ禍ではありますがさらなるご理解ご支援ご尽力をよろしくお願いいたします

事業計画

1. 第23回丹波篠山市人権・同和教育研究大会の開催 12月11日(土)
 - ・研究大会と人権フェスタとを同一日に開催し、三者（丹波篠山市・市教委・丹波篠山市同教）で連携して取り組みます。研究大会は、四季の森生涯学習センターを主会場に、午後、全体会と分科会を開催します。
2. 専門部会
 - ・保・幼、学校、PTA、障がい者、男女共生、宗教、企業、高齢者、地域部会の9部会で取り組みを進めます。9分野別に課題と向き合い、テーマを決めて課題解決につながる学びの場を提供していきます。
3. 人権・同和教育と啓発活動、人材育成活動
 - ・各専門部会での研修は、それぞれの場で学びが実践へと発展するよう研修方法を工夫していきます。各団体やグループの研修会・学習会に講師を派遣したり、資料を提供したりして教育・啓発活動を支援します。
 - ・啓発推進委員会では、市内の人権史跡を調査・研究し、教育・啓発資料を作成します。得られた研究成果を様々な学びの場（理論研修、実地研修）で提供していきます。併せて、次世代リーダーの育成のために講座を開設します。
 - ・「人権尊重のまち 丹波篠山市」をめざし、「人権・同和教育セミナー」連続講座を開講します。
4. 「みんなの人権を考える」映画会をテーマを決めて実施します。8月9日(月・振休)
5. 市同教フィールドワークを実施します。 8月29日(日)
6. 連携推進
 - ・部落解放丹波篠山市民共闘会議との連携
 - ・丹波地区同教・兵人教との連携
 - ・市行政（人権推進課）、市教委、各団体との連携
7. 各研究大会・研究集会へ積極的に参加し、実践交流を図り、市の人権啓発活動に反映させます。
 - ・第68回兵人教中央大会 9月26日(日) 丹波地区柏原高校
 - ・人権啓発研究第42回兵庫県集会 11月20日(土) 神戸市勤労会館
 - ・部落解放研究第55回全国集会 11月9日(火)～10日(水) 北九州市
 - ・第72回全国人権・同和教育研究大会 11月13日(土)～11月14日(日)
新潟県上越市
 - ・第36回人権啓発研究集会 2月3日(木)～4日(金) 和歌山市

8. 広報啓発事業

- ・会報「人権・同和教育だより 丹波篠山」を年3回（6月、10月、2月）発行し、市同教の取り組みの状況を知らせるとともに、日々の生活を見つめ、感動することや不合理に感じることを市民で考え合う場となるよう工夫していきます。

また、インターネットのホームページ上で人権に関わる様々な情報を市民の皆さんへ提供しています。昨年11月にリニューアルし、総会資料、会報、専門部会情報、市同教の予定、関係法等を掲載しています。また、緊急の連絡やセミナーの募集などの情報も提供します。

ホームページアドレス：<http://t-s-doukyou-hr.jp>

9. 市民への学習支援

- ・一人からの学びの要望に応じ、講師や参考資料（図書・出版物等）の紹介等、研修会・学習会を支援（計画から実施）を行います。

10. その他、目的達成に必要な事業